

・植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養う。
 ・物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。
 ・天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、気象現象や流水の働きや規則性についての見方や考え方を養う。

2. 到達目標

観点	自然事象への関心・意欲・態度	科学的思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
目標	自然現象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだした決まりを生活に当てはめてみようとする。	自然現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追求し、量的変化や時間的変化をとらえ、問題を解決する。	問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。	生命は子孫に受け継がれて連続していることや、物の状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の動きには規則性があることなどを理解している。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	植物の発芽と成長	・種子の中の養分をもとにして発芽することをとらえることができる。 ・発芽には、水、空気及び温度が関係していることをとらえることができる。 ・成長には、日光や肥料などが関係していることをとらえることができる。
5	動物の誕生	・魚には雌雄があり、生まれた卵は日がつにつれて中の様子が変化してかえることをとらえることができる。
6	花から実へ	・雌しべや雄しべなどがあり、花粉が雌しべの先に付くと、種子ができることをとらえることができる。
7	自由研究	・研究方法を知り、自分が興味を思ったことについてテーマを決め、調べる計画を立てる。
9	台風と気象情報	・台風や洪水などの自然災害や、備えについて調べ、安全な行動のしかたを考えることができる。
10	わたしたちの気象台	・天気の変化は、気象情報を用いて予想できることをとらえることができる。
11	てんびんとてこ	・水平につり合った棒の支店から等距離に物につるして棒が水平になったとき、物の重さは等しいことをとらえることができる。 ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときには一定のきまりがあることをとらえることができる。
12	流れる水のはたらき	・流れる水には、土地を削ったり、土などを流したり積もらせたりする働きがあることをとらえることができる。
1	もののとけ方	・水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についてとらえることができる。
2	おもりが動くとき	・おもりが1往復する時間は、糸の長さによって変わることをとらえることができる。
3		

4. 評価の観点・方法

「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的思考」「観察・実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」について、ペーパーテスト、作品、行動観察、ワークシートをもとに評価していきます。

5. 保護者の皆様へ

5年生は、身の回りの自然的な事物について学習します。ノートに学習したことを条件に注意しながらまとめさせていただきます。時々、ノートをご覧になって子どもの学習ぶりを見て頂けると幸いです。また、天気の変化などを新聞で調べたり、天気予報を活用したりします。資料集めをするときにご協力をお願いすることもあると思います。